



アニュアルレポート 2009

2009年3月期 [2008年4月1日~2009年3月31日]



Think Automation and beyond...

和をもって人の力を結集させ、
常に汲めども尽きない泉のように素晴らしいアイデアが湧き出し
発展を続ける企業となること。

それが「和泉」という社名に込めた想いです。

この創業時の願いとともに、たとえ社名が変わっても、
決して変わらないものは、
1950年にSB形金属開閉器※を生み出した技術者の魂です。

“安易な代替案には妥協しない。”

“二番煎じはせず、常に独創的なものをつくる。”

このものづくりの精神は、いつしかIDECグループの企業風土として形成され、
今も変わらず、息づいています。

IDECのゆく先にはものづくりと暮らしの未来があります。
人と機械がふれあうその接点を いかにか快適で安全なものにするか。

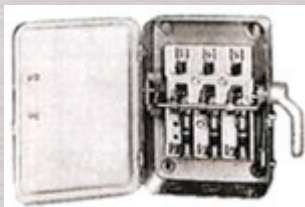
HMI(Human Machine Interface)の分野で培った
さまざまな技術と情報の擦り合わせによって、
世界のものづくりと暮らしを支えるIDECでありたい。
それが、私たちIDECグループの願いです。

Think Automation and beyond...

Vision

私たちが企業活動を行う最大の目的は、
高い信頼性や安全性をそなえた、
ご満足のいただける製品を
世の中に送り出し、
グローバルベースでの社会経済の
発展に貢献することです。

その前提として、
社員の人間性を尊重しつつ、
企業の発展を通じて社会経済に
貢献することにより、
それぞれの人生を
有意義なものにするという
「人間性尊重経営」を標榜しています。



IZUMI
和宗電気

※SB(Safety BOX)形金属開閉器

1950年に開発されたこの製品は、画期的な速入速断機構を備えており、産業界から高い評価を受け、当時規格に厳しかった駐留米軍の指定品ともなりました。

使う人の安全を第一に考え、すべてのスイッチを切らないと箱蓋が開かない、インターロック機構を採用した製品です。

発売以来、20年以上にわたって同じデザインで生産され、IDECグループの歴史に残るロングセラー製品となりました。

Contents

03~04	財務ハイライト
05~10	ステークホルダーの皆さまへ
07~10	ニュース&トピックス
11~12	事業の概況
13~14	事業紹介① IDECグループ製品の活躍の場
15~16	事業紹介② IDECグループの技術がつなぐふたつのビジネス
17~18	創業以来受け継がれるIDECの ものづくりの精神と歴史
19~20	IDECグループのグローバル体制
21	グループを牽引するIDEC組織図
22~30	CSRレポート コーポレートガバナンス コンプライアンス/リスクマネジメント 環境への取り組み 安全への取り組み 人権・労働環境への取り組み
31~36	財務セクション 10年間の主要財務データの推移(連結) 連結貸借対照表 連結損益計算書 連結キャッシュ・フロー計算書
37	株式情報
38	会社情報

■ 将来見通しの記述について

このレポートに記載されている当社または当社グループの業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標などのうち、過去の事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づいて作成したものです。

これらの将来の見通しの記述などは、今後さまざまな要因によって、当社または当社グループの実際の経営成績、業績などとは異なる結果となる可能性があります。